

# Quo Vadis, CSR?

---

LEE, Wonjae  
President

Hankyoreh Economic Research Institute  
82-2-710-0071  
timelast@hani.co.kr

HERI  
한겨레경제연구소

# 1. HERIの観点

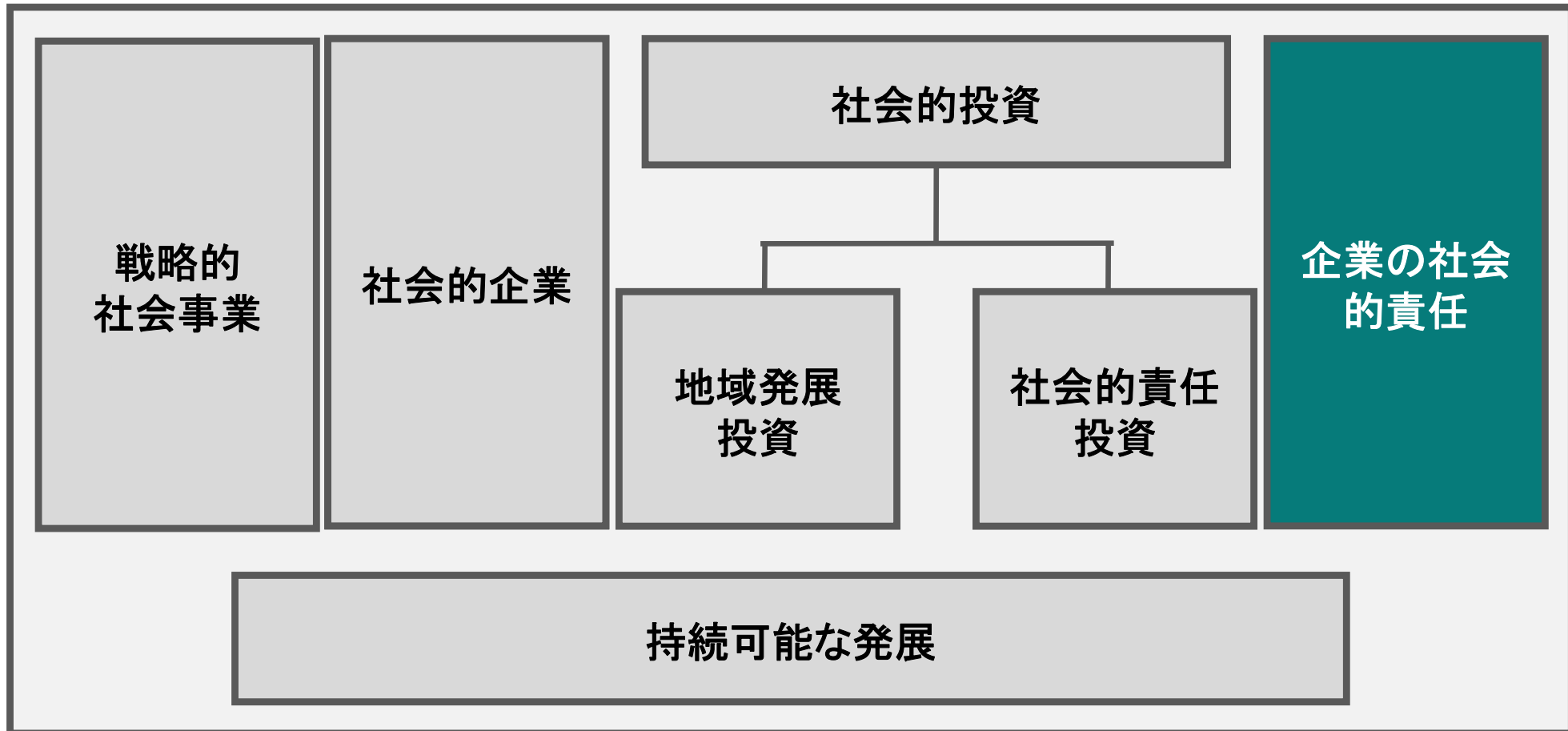


CSRをどう見る  
か？

# CSR: 二つの価値の追求活動

Social +

Financial +

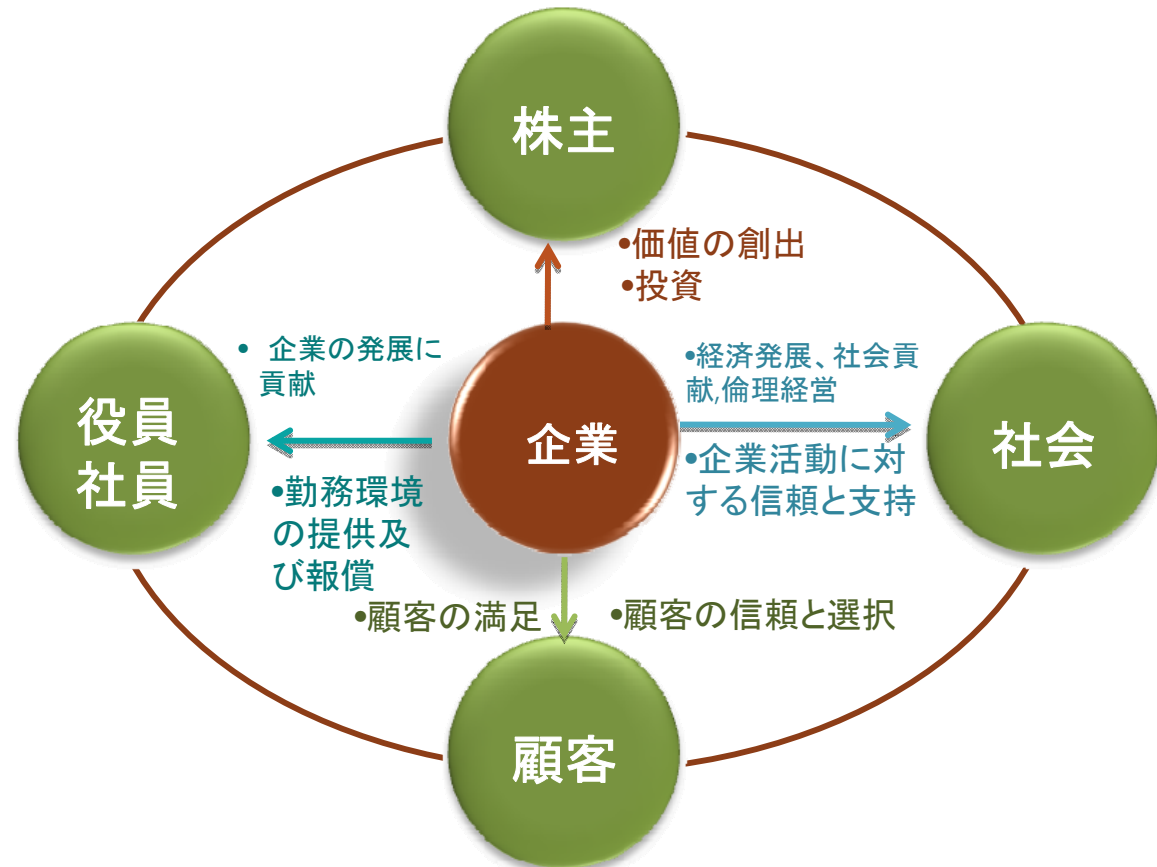
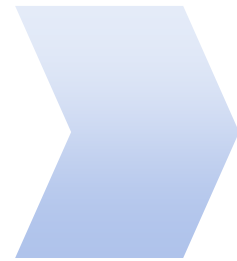


<Blended-value map>

# CSRを実践すべき理由

- 環境を含め企業の影響力の範囲が段々広く、強くなり、それに対する企業の責任が当然のこととして受け入れられる
- このような社会的認識に適合する経営戦略が必要

ステークホルダー  
に対する認識の  
変化が重要な問題に



# CSRの定義

企業が経済、環境、社会的側面で社会を含む周辺環境に及ぼす影響力について責任を持ち、持続的な成果を創出することによって究極的に競争の優位を確保し、価値を増進させる活動

## CSRと持続可能な経営

韓国において持続可能経営、企業の社会的責任、企業市民など多様な用語で持続可能経営を表現し、同じ意味として使用されている。

	企業の社会的責任／企業市民 Corporate Social Responsibility Corporate Citizenship	持続可能な経営 Corporate Sustainability Management
発展	19世紀米国 社会的側面から拡大 -所有と経営が分離した法人の導入とともに登場 -所有者（株主）に対する経営者の責任から拡大	20世紀 欧州 環境的側面から拡大 -1987年 世界環境開発委員会で登場 -開発に伴う環境問題考察の概念から拡大
価値	相対的、相関的価値	絶対的、独立的価値

# CSRの要素



## Triple Bottom Line

- 企業における株主利益極大化という経済的役割だけでなく、社会的、環境的側面に対する企業の役割を強調
- 未来企業の目標は長期的な利潤極大化の追求の可能性を確保すること
- 未来の利益の流れを確保するため今日の利益を投資

+  $\alpha$

# 流れを支えるシステム

## 1. 国際基準

—企業の持続可能経営水準を測定し、推奨するため多様な団体がガイドラインを提示している。

## 2. SRI

—持続可能経営、社会的責任を履行していると判断される企業への投資  
—タバコ、酒類、武器会社に投資せず、倫理経営、環境経営、人権経営を  
実践している企業に投資

## 3. 倫理的な消費者

—社会的評判、社会的価値を追求する倫理的消費を実践する消費者  
—去年マッキンジー報告書“新たな競争のルールの形成”において倫理的消費者の成長を展望

# 国際基準



UN Global Compact , ILO, OECD, ISO

- 国際機構を中心に各分野別CSR国際基準 作成
- 分野別基準が登場、数えきれないほど増加

UNGC, OECD, ILO

規範枠組みのレベル (Normative Frameworks)- 基準、宣言

GRI ガイドライン

プロセス ガイドラインレベル (Process Guidelines)

SA 8000, ISO シリーズ

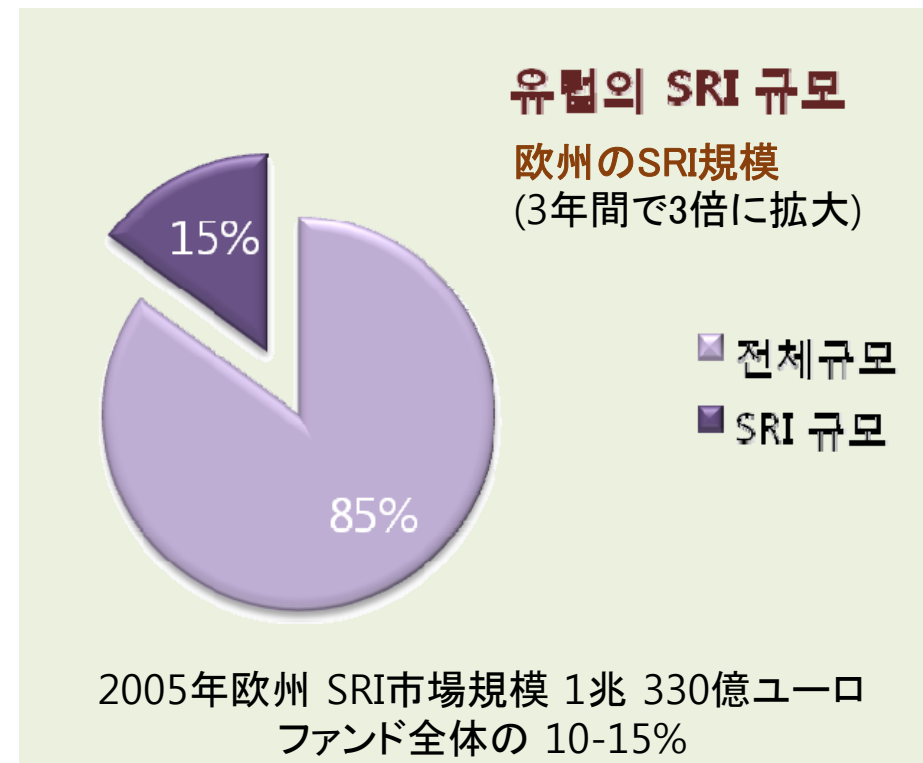
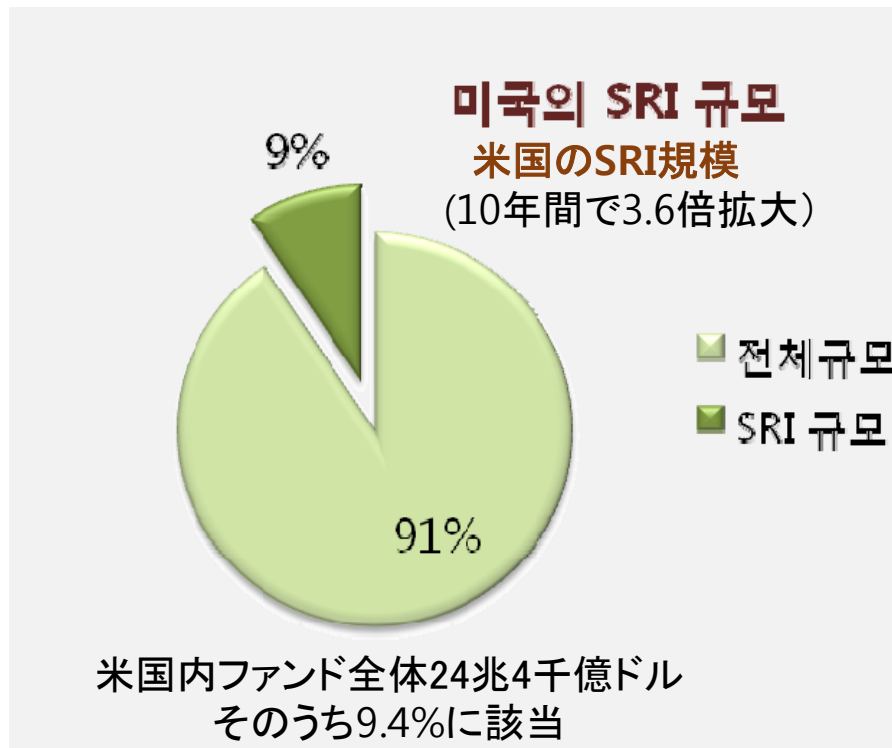
運営体系レベル (Management Systems)

出所: ノ・グアンピョ(2006),「企業の 社会的責任」, 韓国労働社会研究所

# 社会責任投資(SRI)

## • Social Responsible Investment :

株式に投資する際、財務的分析に加え企業の社会的責任に対する評価を追加分析し、それを基に投資すること



# 倫理的消費者

- 社会的評判、社会的価値を追求し、倫理的消費を実践する消費者
- 去年 マッキンジー報告書“競争の新たなルールの形成”で倫理的消費者の成長を展望



## ・ラグマーク

- 児童労働が使われていない絨毯製品を認証し、プレミアム価格を付け、こども達の進学を推進



## ・フェア・トレード(Fair Trade)

- 商品の値段より製品の生産過程と自分の消費がもたらす結果を考えながら製品を購入する消費者が増えている。
- MAX HAVELAAR マーク: フェア・トレード運動の趣旨に沿う製品であることを認証

## 2. 韓国のCSR



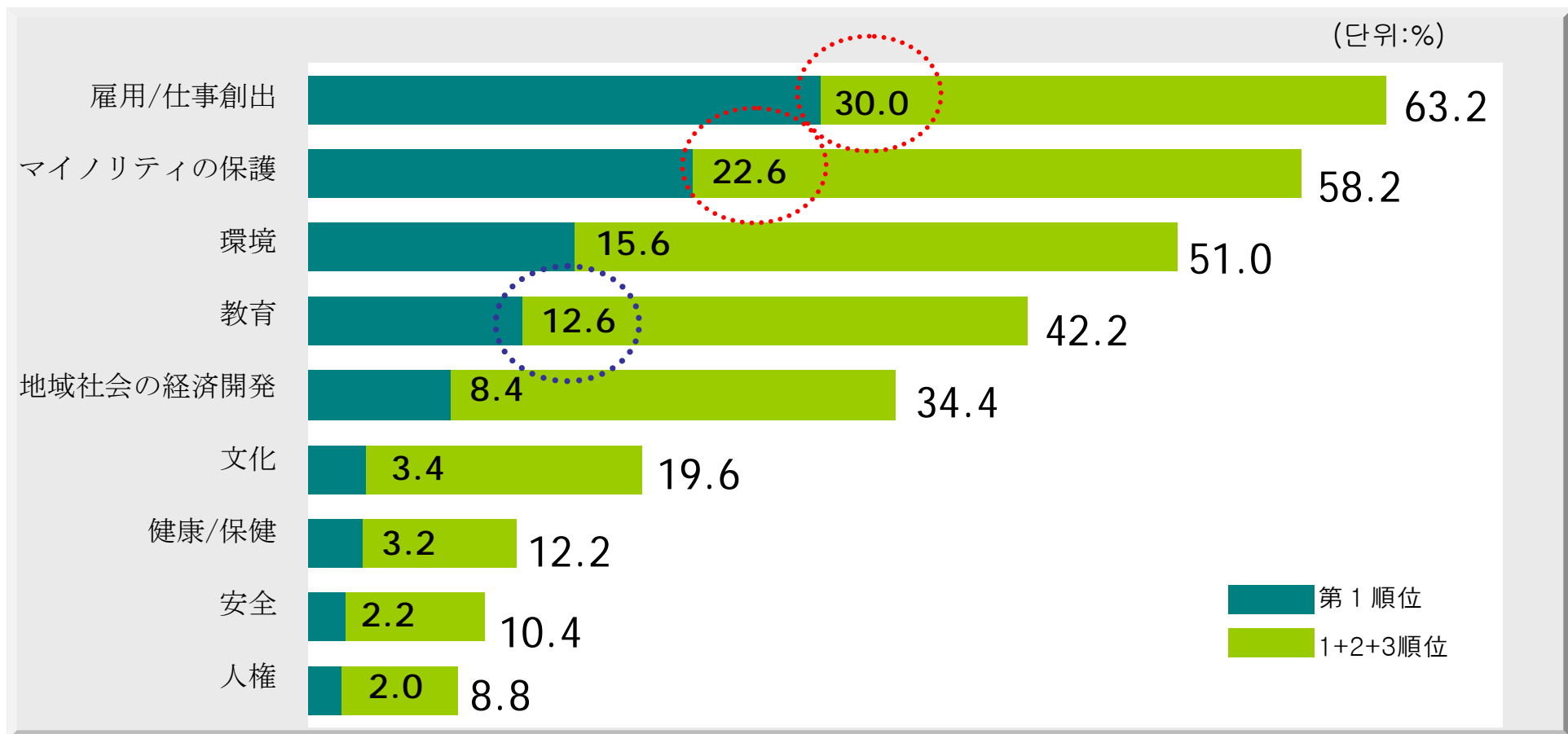
韓国人はCSRを  
どう見ているの  
か？

# 資料収集方法

主項目	調査内容
調査対象	20-59歳男女
調査地域	ソウル、京畿道、5大広域市
標本数	500名
調査方法	アンケート用紙を利用したオンライン・リサーチ
集計方法	地域別、性別、年齢別に比例割し、オンラインパネルで無作為抽出
調査期間	2007年11月 2日~11月5日(分析期間 11月6日~11月7日)
調査遂行機関	エムプレイン コリア
調査依頼機関	HERI
誤差範囲	95% 信頼水準 ±4.38%

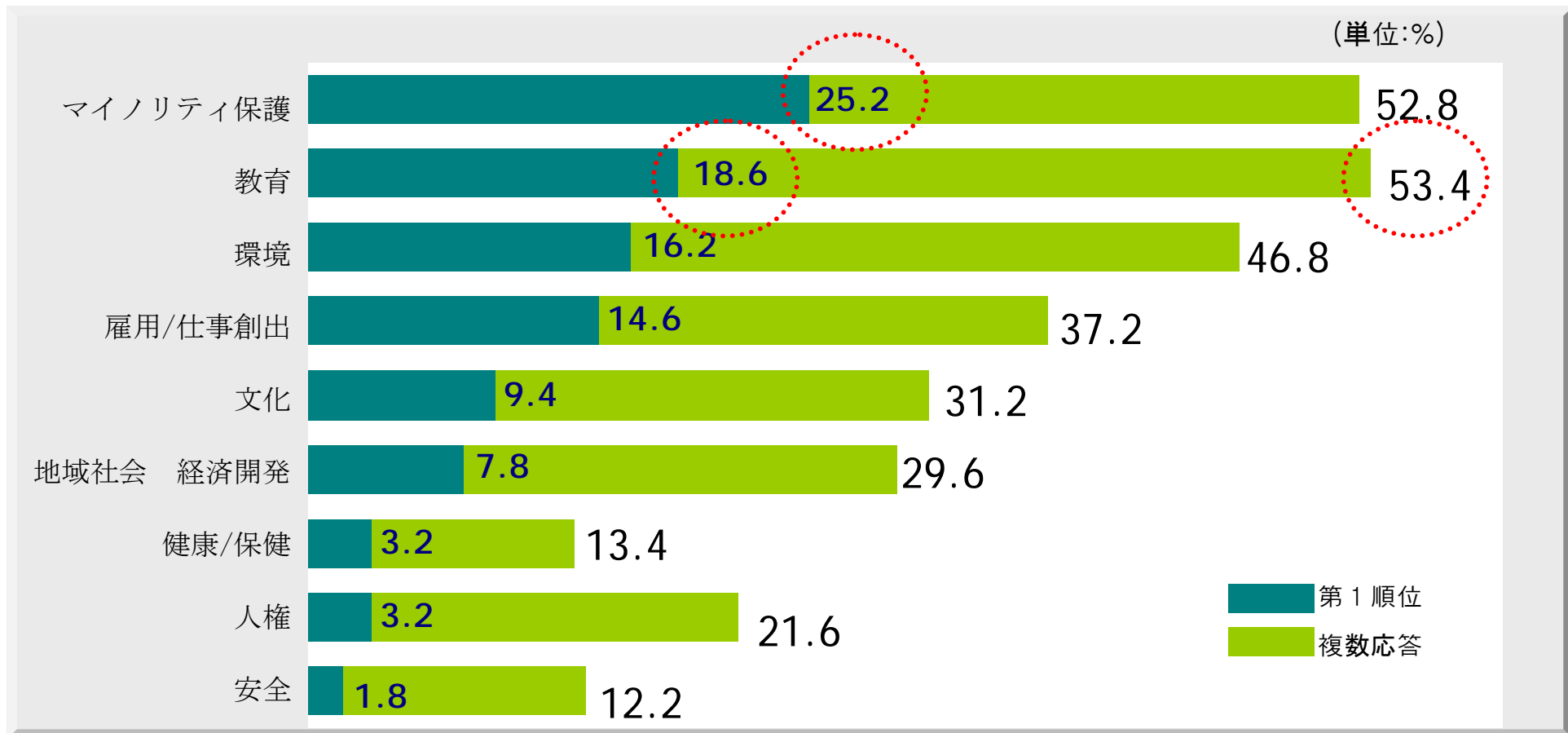
# 社会問題 選択の適切性 ~ 社会貢献活動 集中支援分野

- 韓国企業が集中的に行うべき社会貢献活動分野として'雇用/仕事創出'が30.0%として一番高い。
- マイノリティ保護が22.6%(重複応答 58.2%)で2位
- 教育12.6%(重複応答 42.2%)で4位



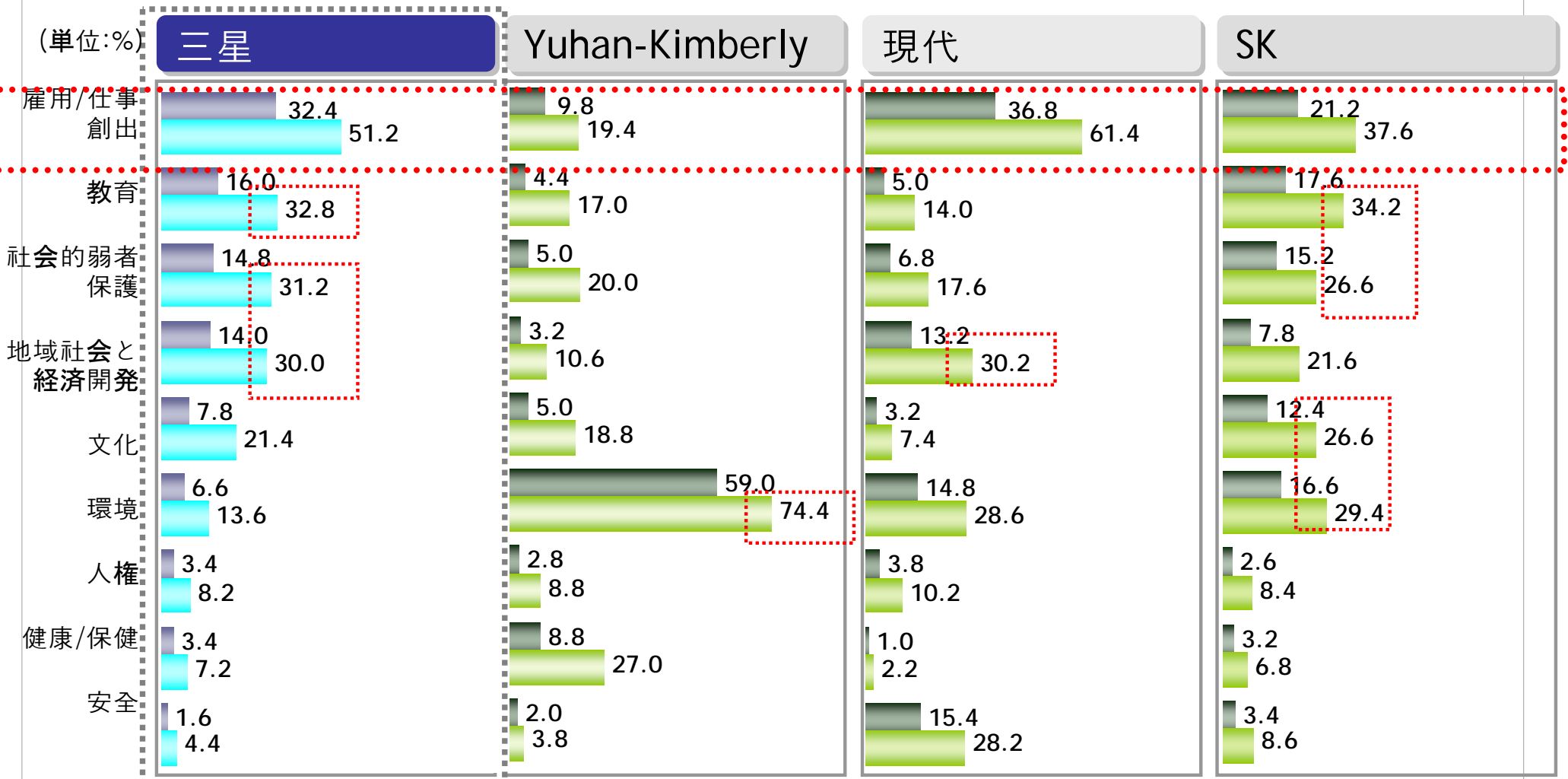
# 社会問題の選択 適切性 ~ 関心、参加希望分野

- しかし、応答者達が関心を持ち参加を希望する社会貢献活動は社会的弱者の保護、教育、環境の順になっている。
- 複数応答も含めてみると、教育は53.4%，社会的弱者保護が52.8%で、環境分野がその後



# 社会問題 選択 ~ 企業の適合度

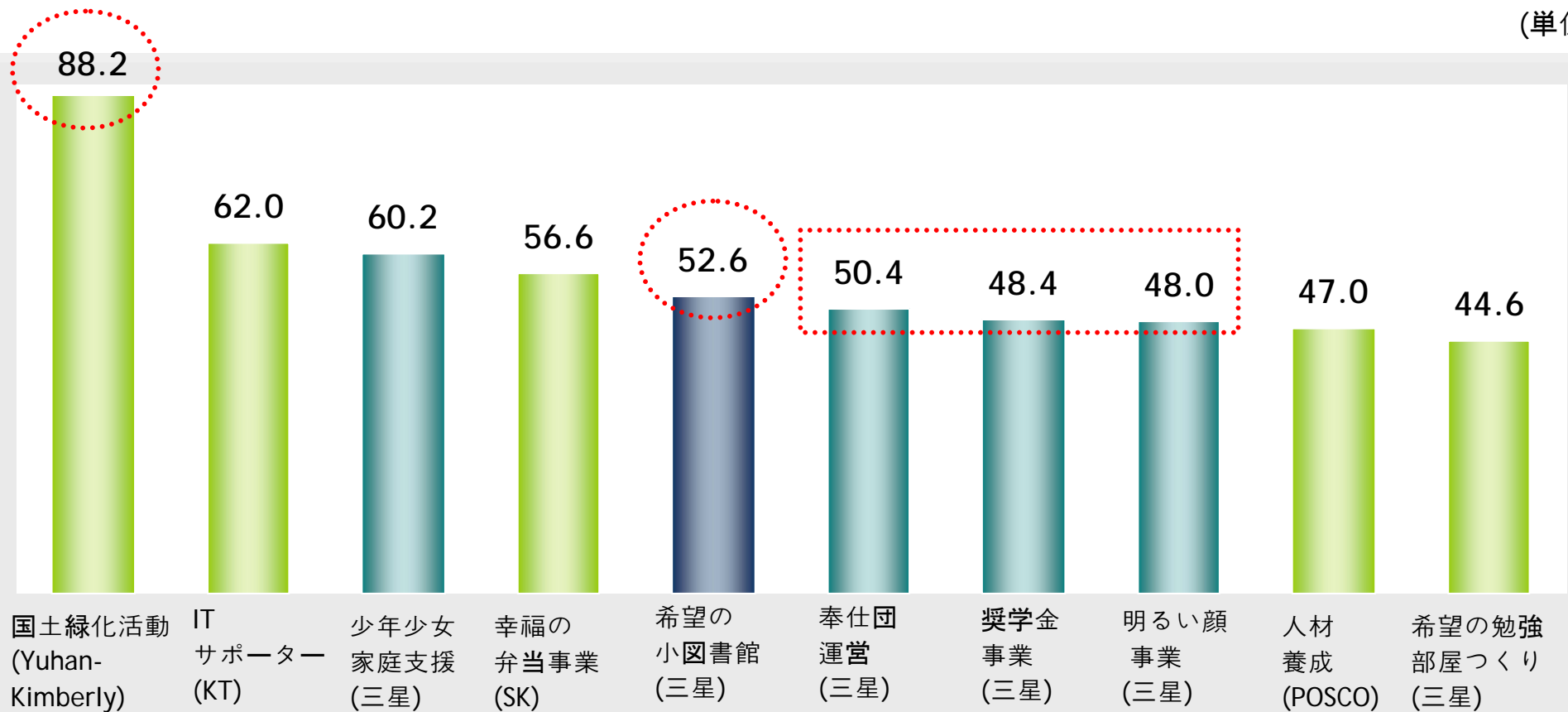
- 企業に似合う社会貢献活動として、Yuhan-Kimberlyは環境面で独創的である。
- 三星と現代は‘雇用/仕事創出’が一番高く、‘地域経済と経済開発’、‘環境’‘安全’分野が二番目に高い。
- SKは‘雇用/仕事創出’‘教育’が高い。



# 企業の社会貢献活動の認識及び評価 ~ 認知度

- 23の社会貢献活動の中で、認知度はYuhan-Kimberlyの国土緑化活動が一番に
- 希望の小図書館事業の認知度は52.6%で5番目に
- ほかの企業に比べて三星の社会貢献活動に対する認知度が高い。三星の5つの社会貢献事業はすべて認知度8位以内に

(単位:%)



### 3. 最近の発展方向



韓国企業におけるCSRの変化

# 過去の韓国の CSR

## ■ 1990年代半ばまで

- CSRは腐敗防止、倫理経営、環境経営としてのみ認識
- 1960年代 三星 サッカリン密輸事件、Doosanの洛東江フェノール汚染事件の発生などで国民の認識向上

## ■ 2000年代半ばまで

- CSRは社会的貢献活動(寄付)と奉仕活動として認識
- 三星社会奉仕団 創設(1994年)から、2005年三星, 現代 自動車会長の不法相続関連捜査で8千億ウォン、1兆ウォン寄付宣言

# 現在の韓国のCSR – 企業の変化

- **CSR 専門部署が増えている**
  - SKテレコムは最近既存法務室傘下の倫理経営チーム、持続可能経営チーム、広報室傘下の社会貢献チームを一つの組織として統合
  - 三星電子にはCSR専門部署
  - 韓国東西発電には持続経営チーム
- **社会貢献活動から生産的CSRへ**
  - 過去には社会福祉機関への寄付的活動が多数
  - 最近は社会的企業、障害者企業などの生産組織に対する支援が増加
- **人権に対する関心が芽生えている**
  - 過去 韓国企業はCSR要素の中、国連GCが強調する人権については強い拒否感を表示
  - 最近国家人権委員会主催のセミナーに大企業が参加・発表するなど人権問題に対する関心が増えている

# 現在の韓国 CSR –環境の変化

- **国民年金が SRIに積極的に**
  - 世界最大規模の年金基金の一つである韓国国民年金がPRI加入を検討中で、2009年 6~7月加入が有力
  - そうなれば3~4年以内に総額34兆ウォン規模の社会的責任投資が行われる予測
  - 現在 国民年金のSRI規模は5千億ウォン規模に過ぎない
- **持続可能経営報告書の発行が増加傾向**
  - 2008年 持続可能経営報告書の発行は41社で、増加傾向
- **国連グローバル・コンパクトの活発な活動**
  - 崔泰源 SK会長が2008年 UNGCボード・メンバーに
  - 潘基文事務総長の関心の下で加入企業と組織数が急速に増えている。(2006年まで 16社, 2007年まで103社, 2008年まで143社(99社企業)が加入)

## 4. 危機以降の変化



CSRはどこに  
向かうのか？

# Quo Vadis?

## ■ 量的側面

“韓国企業の社会貢献活動、奉仕活動は1980年代以増え続けており、純利益対寄付金の比率は大企業の場合2%を超える場合が多い。これは西欧多国籍企業よりも多い。”

“しかし、2009年には予算を30%まで減らしている見込みである。そして予算執行自体非常に慎重になっている。”

## ■ 質的側面

“2000年代半ば以降CSRは戦略的CSR, NGOとのパートナーシップ、国際社会との協力、SRIへの対応など、単純寄付を超え戦略的レベルへの質的向上が起きている過程にある。”

“しかし、最近、企業側はここ数年間のCSRおよび社会貢献活動の成果に満足していないようだ。まだ可視的成果がないという意味である。今後の方向性が心配される。”

# 2009年 HERI 持続可能経営研究

これはHERIが2009年遂行する予定の研究計画である。研究結果については<HERI Review>紙面、報告書（韓/英）、研究発表会を通じて共有する予定である。

	主要内容
研究目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アメリカ発の金融危機と企業責任の方向の模索</li> </ul>
研究対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リーマン・ブラダーズ、GE、サーキット・シティー 等グローバル破産企業</li> <li>• 2007年 売上高基準で 国内50大企業</li> <li>• 国内Best CSR Practice 企業及び海外代表企業（中、日、米、EU）</li> </ul>
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アメリカ発金融危機が持続可能経営に示唆する点を導き出す</li> <li>• 主要企業の持続可能な経営関連の経営方針と争点の診断</li> <li>• 過去及び現在のBest Practiceの発掘及び示唆する点を導き出す</li> <li>• 危機以降の成功可能な持続可能経営のキーワードを提示</li> </ul>
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Step 1破産及び危機企業 ケース・スタディー/世界的専門家の診断</li> <li>• Step 2危機以降、企業はどのような行動をとっているのか？ （企業、ステーク・ホルダー調査）</li> <li>• Step 3過去の危機の時、どんな企業が克服できていたのか？</li> <li>• Step 4危機克服のための経営の核心的要素は何なのか？</li> </ul>
最終成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HERI Review</li> <li>• 韓/英 深層報告書</li> <li>• 研究結果発表会</li> </ul>

# 2009年 HERI研究 – 研究対象

24

## Step 1

### ●木国 5大破産機関

- リーマン・ブラダーズ、メリル・リンチ、AIG, シティーグループ(金融) ,
- GM, クライスラー(製造), サーキット・シティ(流通)

## Step 2

### ●2007年 売上額基準 50大企業(韓国商工会議所)

- ・三星電子、現代自動車、韓国電力、LG電子、三星生命、POSCO、GCカルテクス、ウリ銀行、新韓銀行、ハンジン海運、大宇建設、SKネットワークス、KIA自動車、現代重工業、S-Oil、韓国カス公社
- LGディスプレイ (LGフィリップス)、GM大宇、韓国SC第一銀行、Kyobo生命保険、KT、SKテルコム、大韓生命、LG化学、ハナ銀行、中小企業銀行、現代建設、Hyosung、三星SDI、大宇造船海洋、ロッテショッピング、三星物産
- 三星火災、現代オイルバンク、大韓航空、韓国外換銀行、韓国水力原子力資源、LG商社、KTフリテル、韓国シティ銀行、三星重工業、ハイネックス半導体、新世界、大宇インターナショナル、GS建設、現代商船、現代製鉄

## Step 3

### ●Best Practice 企業発掘

- Yuhan-kimberly, トヨタ, マクドナルド, GE, PEPSI, Walmart など

### ●日本、米国、EU持続可能な15社の企業 (2009, ダボス会議発表)

- 日本 : Honda Motor , NTT Docomo Inc, Parasonic Corporation, Toyota Motor Corp. Nippon Ysen KK
- 米国 : Alcoa Inc, Coca Cola Company, Dell Inc, Goldman Sachs Group Inc, H-P Company
- EU : Adias AG, Air France-KLM, BASF SE, L' Oreal, Michelin

감사합니다

---

Thank you

HERI  
한겨레경제연구소